

各位

岐阜聖徳学園大学短期大学部

令和6年度「岐阜保育研究会」のご案内

平素より、本学の教育に多大なるご理解とご協力とを賜りまして、誠にありがとうございます。

地域の保育・幼児教育関係の先生方並びに保護者の皆さまとともに、子どもの福祉や保育について考えてまいりました「岐阜保育研究会」では、今年度も下記の通り、通年の「保育者のための実践講座」、秋の「大会」を開催いたします。ぜひご参加ください。

令和6年度 岐阜保育研究会「保育者のための実践講座」

保育士、幼稚園教諭、保育教諭を始めとして、保育・幼児教育にかかわる先生方を対象に、先生方の保育実践にお役立ていただくための講座を本学教員が実施いたします。【参加費等不要】

(一部の講座ではオンラインでもご参加いただけます)

●日時等 →別紙の講座一覧へ

●お申込方法 下記の申込みフォームにて、必要事項をご送信ください。

<https://forms.gle/AsRwe5rS4WrY8urG9>

短期大学部ホームページからもアクセスいただけます。



※各講座開催日の10日前を目途に確認メールをお送りいたします。

※定員等によりお受けできない場合もございます。

※オンライン参加のアクセス情報（URL等）は受付後にお知らせいたします。

●お申込期限 →別紙の講座一覧へ

(期限後は、下記連絡先までお問い合わせください)



「岐阜保育研究会 第24回大会」11月9日(土)

子どもや保育に関する「特別講演」、「保育者のための実践講座」、地域の子どものための「あそびひろば」などを、例年通り開催いたします。

※プログラムの詳細、お申込み方法などは、後日お知らせいたします。

【お問い合わせ】(担当: 幼児教育学科 齋藤)

058-278-0711 (岐阜キャンパス代表) hoiku@shotoku.ac.jp



表題	担当者	日時	開催方式	会場	定員	申込期限
① 「10の姿」の基礎基本を振り返ろう	安部 日珠沙	6/29 (土) 14:00-15:30	対面	岐阜キャンパス 231 講義室+オンライン	—	6/15 (土)
<p>(概要) 今年1月に、文部科学省は有識者検討会を通じ、次の幼稚園教育要領改訂に向けて動き始めました。数年後には、新しい幼稚園教育要領が告示されると予想されますが、その前に、現行の幼稚園教育要領のポイントのひとつである「10の姿」について、改めて振り返ってみませんか？ 本講座では、「10の姿」の基本事項を確認し、ディスカッションなどを通じて理解を深めていきたいと思ひます。</p>						
② 保育現場におけるICTの利用	糟谷 咲子	8/10 (土) 10:00-11:30	対面	岐阜キャンパス 254 コンピュータ演習室+オンライン	20名	7/27 (土)
<p>(概要) 保育・幼児教育の場面でも情報機器（パソコンやタブレット、デジカメ、プロジェクター等）を利用する機会が増えてきました。保育者の業務効率化、保護者支援、園児の遊びや創作活動を広げるなど様々な場面で活用されています。どんな場面で利用が可能か、どのような効果が期待できるか、導入にどんな準備が必要か、実践例を共有しディスカッションを通じて考えてみたいと思ひます。</p>						
③ まことの保育における「ありがとう」と「ごめんなさい」について	蛭川 祥美	11/2 (土) 10:00-11:30	対面	岐阜キャンパス 245 講義室	—	10/19 (土)
<p>(概要) 浄土真宗本願寺派保育連盟のかかげる「まことの保育」における「ありがとう」と「ごめんなさい」について、親鸞聖人の教えに基づいた理解を確認した上で、作物の栽培、小動物の生と死などから学ぶことについて考えましょう。また、上記の理念を伝える際に、お寺の本堂や仏壇などを、どのように活用すべきなのかについても一緒に考えてみましょう。</p>						
④ 社会的養護における子どもの権利擁護	藤田 哲也	11/9 (土) 10:00-11:30	対面	岐阜キャンパス 245 講義室	10名	10/26 (土)
<p>(概要) 現在、社会的養護施設では子どもの権利ノートを作成し、権利擁護のための取り組みが積極的に進められています。子どもの権利を守るとはどのようなことなのか、どのような取り組みが権利擁護につながるのか、参加者と共に考えていく時間にできればと思ひます。 (連絡事項) 参加人数によっては、グループでのディスカッションも行います。権利擁護に関する事例がおありでしたら、お申し込みの際にお知らせください。</p>						
⑤ 幼児期の総合的な表現活動を考える	齋藤 正人	11/9 (土) 10:00-11:30	対面	岐阜キャンパス 140 美術室	15名	10/26 (土)
<p>(概要) 子どもは遊びや生活の中で、さまざまな「もの・ひと」に出会い「こと」を体験することから、多くの刺激を受けています。その刺激がスイッチとなり、心を揺れ動かし、感じ取る心を豊かにしていきます。同じ体験であっても、一人ひとりが「どう感じたか」を大切にすることにより、表現の特徴として現れてきます。このことを踏まえ、総合的な表現活動について考えてみたいと思ひます。</p>						
⑥ 子どもと打楽器であそぼう	木許 隆	11/30 (土) 13:00-14:30	対面	岐阜キャンパス 実技館1階第3音楽室	15名	11/16 (土)
<p>(概要) 保育現場では、よく、打楽器を用いた音楽あそびが展開されています。しかし、打楽器の使用方法や演奏方法など、基本とされることがうまくいかず、子どもに負担をかけていたり、いい音が出ていなかったりという問題が起っています。この講座では、まず、打楽器の使用方法を確認し、いい音を探していただきたいと思ひます。</p>						
⑦ 歌の常識？・非常識？	長川 慶	1/11 (土) 10:00-11:30	対面	岐阜キャンパス 実技館2階第1音楽室	20名	12/28 (土)
<p>(概要) 「息を大きく吸って歌いましょう」、「大きな口で歌いましょう」、「お腹から声を出しましょう」いずれも保育現場や学校でよく聞かれる言葉です。しかし、これらの文言は果たして適切なのでしょうか。本講座では、そんな“歌の常識”と一緒に歌いながら確かめ、基本的な歌唱技術や注意点を解説します。さらに、子どもへの歌唱活動についても意見を交換し、子どもの歌声や指導方法なども一緒に考えたいと思ひます。 (連絡事項) 歌唱実技を伴いますので、感染症の流行等、社会情勢の変化により講座を中止する可能性があります。</p>						

【お申込み】 <https://forms.gle/AsRwe5rS4WrY8urG9>



【お問い合わせ】

岐阜聖徳学園大学短期大学部 058-278-0711 (岐阜キャンパス代表) hoiku@shotoku.ac.jp

